

在韓被爆者支援（積算）

2. 5. 21

1. 支援内容

- (1) 介護費用支援-----毎年約2.40億円×12年=28.8億円
 (2) 治療費支援-----毎年約0.42億円×12年= 5.0億円
 (3) 機材供与-----2年間8.8億円
 合計(12年間)42.6億円

<積算根拠>

1. 介護費用：障害のため見の回りの世話をする人を雇った場合にその費用の一部を支援（実費の一部を支給）。日本の被爆者には、一定の所得制限の下、同様の介護手当てが支給されているが、在韓被爆者の殆どは、低所得者層に属すると考えられるので、8,000名全員に対し、1ヵ月間1人の介護者を雇った費用を支給。8万円（韓国人の平均賃金）×3,000人=2.4億円/年

2. 治療費支援

既存の年4.200万円の支援を継続。

3. 機材供与

既存の原爆病院に医療機材を供与。（別紙参照）

原爆支援基金使用計画（案）

（第一案）

単位：1000ウォン

区分	算出内訳	
総計	20,046,400	
○患者治療費	6,660,000	治療対象者：2,100名（80：現在 '92：5000名と予想） 月間1人当治療費（現在平均治療費50） （92年以降：10と予想） '91年以降：2,100名×50×12ヶ月=1,260,000 '92年以降：5,000名×10×12ヶ月×9年=5,400,000 小計：6,660,000
○福祉センター 建立費	4,406,400	建物新築費 ○ソウル本部地域（50室） 1,000坪×1,800=1,800,000 ○茨川支部（30室） 600坪×1,800=1,080,000 ○その他地域（釜山、馬山、畿湖、湖南）各10室 200坪×1,800×4ヶ所=1,440,000 設計費、管理費：総工事費（4,320,000）の2%=86,400 小計4,406,400
○治療機材	4,300,000	○ソウル地域：1,300,000 ○茨川地域：1,000,000 ○その他地域（4ヶ所） 50,000×4ヶ所=2,000,000 小計4,300,000
○管理・運営費 （福祉センター及 び分所）	2,280,000	施設設備維持費及びその他運営費 ○ソウル支部15,000×12ヶ月×5年=900,000 ○茨川地域 10,000×12ヶ月×5年=600,000 ○その他地域13,000×12ヶ月×5年=780,000 小計2,280,000
○健康管理手当	2,400,000	○支給対象者：1世のうち生活困難者選定（約200名） ○支給金額：月10000 ○支給時期：'82より10年間実施 ○支給予想額：200（名）×100×12ヶ月×10年 =2,400,000 小計：2,400,000

① 去年と今年の比較

② 新17の町に設置 (32)

3か年確保方案

(第二案)

単位:1000ウォン

区分 計	算出内訳		
	'91	'92	'93
20,046,400	5,666,400	5,596,000	8,784,000
○患者治療費	2,100名×0.05× 12ヶ月×1年=1,260	5,000名×10×12ヶ月 =600	5,000名×10×12ヶ月 ×8年=4,800
○福祉センター 建立費	建物新築費 ソウル地域:1,800 川地域:1,080 その他地域:1,440 設計管理費:86.4 計:4,406.4		
○機材購入		ソウル地域:1,300 20% 川地域:1,000 23% その他地域:2,000 40% 計:4,300	
○管理運営費		施設設備維持費及び その他運営費 ソウルセンター:180 川分所:120 その他(4,所)分所:156 小計:456	施設設備維持費及び その他運営費 456×4年=1,824
○健康管理手当		200名×100×12ヶ月 =240	240×9年=2,160